

(参考資料 2) 映像教材 (案) について

社会保障教育の推進に関する検討会 (第 2 回)

令和 6 年 3 月 27 日 (水)

政策統括官 (総合政策担当) 付政策統括室

人生で起こるかもしれない
困難なできごとと対応する制度



これからの人生で起こるかもしれない困難なできごとには、どのようなものがあるでしょうか

仕事を失ってしまうこと

Bさん



自分や自分の周りの人が病気になってしまうこと

Dさん



事故が起きて、一生治らない障がいを負うこと

Cさん



病気になって、介護が必要になること

Eさん



シナリオ(案)

- 長い人生の中で、これからどんなことが起こって、どういう困難が待ち受けてると思うか、ちょっと難しいかもしれませんが、皆さんの考えを聞いてみたいと思います。
- Bさんは「仕事を失ったときが怖い」ということです。働ける間にずっと働いておきたいというのがあると思いますが、もし仕事が無くなったときは、確かに怖いでしょうね。
- 次にDさんは、「自分や自分の周りの人が病気になってしまったとき」ということです。ずっとみんな元気で、一生生活できていけるのであれば、そんなに幸せなことはないですが、やはりどこかで病気してしまうし、自分が病気になって迷惑をかけたりするかもしれません。逆に周りの人や家族が病気になって、一生懸命支えるという形になるかもしれませんので、病気になったらすごく困るかもしれません。
- そして、Cさんは、「事故が起きたとき」だそうです。最近では、大きな災害も多いし、交通事故など、色々なところで、いつ、どこで事故に巻き込まれるか分からないですよ。もしかしたらその事故で、一生治らない障がいを負ってしまうかもしれない。そんなときは、やはり人生において、困難に立ち向かわないといけないときになるかなと思います。
- そしてEさんは、「病気になって、介護が必要になり、自分で生活するのが難しくなったとき」だそうです。病気になって、介護の状態になって、支えてもらわないといけなくなったら、結構苦しいですよ。

(約2分)

困難なできごとが起こったとき、どんな制度を利用できるか知っていますか。
分からなければ、インターネットで検索してみましょう。

困難なできごと

利用可能な制度

(1) 仕事を失ってしまい
失業中の生活費が足りない



(①

) 保険の (②

) 手当

(2) 病気になってしまい
高額な医療費が払えない



(③

) 保険の (④

) 費

(3) 事故で障がいを負い
働けなくなってしまった



(⑤

) 保険の障害 (⑤

※⑤には同じ言葉が入ります

(4) 介護が必要になったが
家族だけでは対応できない



(⑥

) 保険サービス

(5) あなたが考える困難な
出来事を書きましょう

[]



[]

あなたはひとりじゃない 孤独・孤立対策ウェブサイト

URL <https://www.notalone-cas.go.jp/>

あなたのための支援があります

誰にも頼れず、ひとりで悩みごとをかかえていませんか。
いくつかの質問に答えていただくことにより、約150の支援制度や窓口の中から、
あなたの状況に合った支援をチャットボットで探すことができます。
あなたのための支援をぜひご利用ください。

①

制度・窓口を探す

18歳以下のみなさんへ

ボット
下記の情報を入力いただくと、チャットボットの利用結果から、お住まいの市区町村の支援制度の手続のホームページに繋がることができます。

②

ボット

郵便番号

都道府県

市区町村

送信

郵便番号を入力
してみてください

QRコード



どんな制度が
出てきましたか？

※ 例えば「(2)病気になってしまい高額な医療費が払えない」の場合...

ボット
あなたが困っていること、悩んでいることはどのようなことですか。

食事・住まい、家事

生活や医療に係る費用

仕事・職場

妊娠・出産

子育て

一緒に暮らしている人との関係

③

生活や医療に係る費用

ボット
「生活や医療に係る費用」について、当てはまるものを選んでください。

生活費

医療費

法律相談をしたい（借金・貸付）

保険料や税金の支払い

ひとつ前に戻る

④

医療費

ボット
「医療費」について、当てはまるものを選んでください。

子どもにかかる医療費が負担である

特定の病気等の治療を行っている

自動車事故の被害にあって治療をしている

高額な医療費が負担である

⑤

ボット
ありがとうございます。あなたを支える支援を紹介します。

ボット

【高額療養費】

家計の医療費の自己負担に一定の歯止めを設ける仕組みです。医療機関や薬局の窓口で支払った額（※）が、暦月（月の初めから終わりまで）で一定額を超えた場合に、その超えた金額を高額療養費として受け取ることができます。（※）入院時の食費負担や差額ベッド代等は含みません。

【対象者】健康保険等の被保険者等
【申請先・相談先】ご加入の医療保険者

これから起こるかもしれない
困難なできごとへの備え方

これから起こるかもしれない困難なできごとに備えるためには、どうすればいいでしょうか。

- A みんなで税金や社会保険料を支払うことで、政府が中心に対応すべき。

- B 家族の間で助け合ったり、個人で努力したりするなど、家族や個人が中心に対応すべき。

- C AでもBでもどちらでもない



これから起こるかもしれない困難なできごとに備えるためには、どうすればいいでしょうか。

自分たち自身で生活できたら、それが一番だと思うけど、それでもだめだったときに、政府が助けてくると、安心できるかな。

Bさん



Dさん



家族といっても、色々違うと思うし、個人で努力しながら生き続けるのはちょっと難しい。政府があれば、少し安心して生活できるのかな。

シナリオ(案)

○ これから起こるかもしれない困難なできごとに備えるためには、どうすればいいか、考えてほしいと思います。まず一つ目はAの、みんなで税金とか社会保険料を支払うことで、政府が中心に対応していくべきだという考え方。二つ目はBの、税金や社会保険料を支払うのではなくて、家族間で助け合ったり、個人で努力したりするなどして、家族や個人が中心に対応すべきという考え方。もちろん、AでもBでもない、という人もいると思いますが、皆様のご意見を聞きたいと思います。どうでしょうか。

(Bさん) 自分たち自身で生活できたら、それが一番だと思います。その上で、それでも駄目だったときに、政府が助けてくれたら、少し安心できるのかなと思います。

(Dさん) 家族といっても、いろんな家庭があると思いますし、個人で努力しながら生き続けるのはちょっと難しいと思います。政府という枠組みがあれば、少し安心して生活できるのかなと思いました。

(約1分半)

Eさん



色々な家族の形があると思う。ひとりだったり、協力的じゃなかったり、貧富の差があったり。政府が大体平等になるようにしてくれれば、すごくいいかな。

Cさん



家族や個人で対応することにすれば、少子化により若い世代がもらえるお金が減るという問題もなくなると思う。

Aさん



高齢者は自分で貯金できるけど、子どもは何もできないので、政府は、教育にたくさん税金を使うべき。
自分の意志で決められる最後の段階では、社会からの支援ではなく、家族や個人で、生き方を選べた方がいいかな。

シナリオ(案)

(Eさん) 家族間でやれとなったら、日本の中でも色々な家族があると思うんです。例えば、家族がいないとか、協力的じゃない家庭もあったり、貧富の差があったりするから、政府が大体平等になるようにやってもらえたらすごくいいかなと思います。

(Cさん) 家族や個人で対応することにすれば、少子化とかで、自分たちの世代がもらうお金が少なくなるという問題もなくなると思います。

(Aさん) 高齢者は、今までの人生があった上での最後の段階なので、自分で積み立てや貯金もできますけど、例えば子どもの最初の教育って、子供だから何もできないので、そこに税金とか社会保険を手厚くして、教育とかにお金をかけるべきだと思います。自分の意志で決められる最後の段階の人に関しては、社会として支援するのではなくて、家族とか個人の間で、自分のやりたい生き方を最後に選べた方がいいのかなって思いました。

(約1分半)

映像教材のための指導者用マニュアルの構成(案)

▶ 映像教材の作成趣旨

- ✓ 社会保障の意義や仕組みを理解し、必要な制度を活用できるようにすること。
- ✓ 変化する社会における社会保障について当事者意識をもてるようにすること。

▶ 映像教材を活用する上での留意点

- ✓ 授業においては、生徒に自由に議論・発表させ、主体的に考えさせることに重点をおくことが望ましいということ。
- ✓ 映像教材②については、社会保障に関する学習のまとめとして活用されることを想定していること。
- ✓ 映像教材②のうち、実際に高校生が意見を述べる部分については、次の内容を伝えるために、生徒の議論・発表の後で活用されることを想定していること。
 - 社会保障制度については、世界でも様々な考え方があり、国によってその制度の内容が異なるように、唯一の正解があるわけではないこと。
 - 自分自身の今の状況だけから考えるのではなく、自分自身に将来起こるかもしれない状況や、様々な事情を抱えた人のことも想像しながら議論してほしいということ。

▶ 映像教材を活用したモデル授業案